

# レースにあたっての審判上の諸注意

全国高等学校ボート選手権特別大会《2020/9/18—20 大阪府立漕艇センター》

今大会は、日本ボート協会競漕規則(2020年7月改訂)と大会要項、および以下の諸注意とこの代表者会議での指示決定事項に基づいてレースを運営します。注意してレースに臨んでください。

## 1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加できるよう心がけてください。今大会はとくに新型コロナウイルス感染防止への対策を怠らないようにし、発熱での来場および出漕は絶対に避けてください。出艇後でも、体調不良等の場合は無理をせず、必ず最寄りの審判員またはその他の役員に申し出てください。

## 2. 事故防止と安全確保について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施してください。
- ② レース前の練習については、審判員等の目が行き届かない場合があるので、練習水域においても航行ルールを守り、周囲の安全を確認し、十分注意して行ってください。また、決められた水域以外には行かないこと。気象の変化や風・波等にも注意し、大会本部等から指示がある場合は、これに従ってください。
- ③ レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。

## 3. 各種手続き（届け出）について

- ① 棄権・メンバー変更・ブレード変更(不統一)の届け出や願いの手続きは、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順で行ってください。
- ② シート変更(漕手間の変更)については、事前に届け出る必要はありません。

## 4. 監視と舵手計量について

- ① 今大会は特別大会であり、監視部署を設けての監視は行いません。出漕するメンバーや服装・ユニフォームについては、各団体が間違いのないように責任をもって対応してください。出漕者に関する不正が発覚した場合、失格となることがあります。
- ② 栈橋等での監視は行いませんが、審判は各部署(審判艇も含む)で目の届く範囲で服装・ユニフォーム等のチェックを行います。是正を求められれば、速やかにこれに従ってください。状況によりクルーはイエローカードやレッドカードを受けることがあります。
- ③ 舵手の計量は、レースがある日ごとに、出漕する最初のレースの2時間前から1時間前に舵手計量所で行います。規定の時間内に行わないと失格となりますから、時間を厳守してください。呼び出し放送などは行いません。なお、計量は出漕(レース時)の服装にかかわらず「ユニフォームのみ」でおこないます。
- ④ デッドウェイトの携行を求められたクルーが、携行せずにレースに出漕すれば除外となります。

## 5. ユニフォームの統一について

- ① 各クルーとも統一したユニフォームを着用し、不ぞろいな服装で出漕してはいけません。アンダーシャツ・タイツ等を着用する場合、これも統一してください。統一されたユニフォーム・同じ服装とは、「外見がまったく同じもの」ということですから、とくに色あせ、迷彩模様・幾何学模様等には注意してください。また個人名・イニシャルやポジション名等の記載(刺繍)は同一でない限り認められません。
- ⑤ 帽子・はちまきについては、クルー内で着用する者としめない者があっても可とします。ただし、着用する場合は、漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。

## 6. コースへの進入について

前のレースがスタートし、100mを通過すると、発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みます。その呼び込みを受けてから、指示されたレーンに速やかに進入してください。

## 7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置(ステッキボート)に着かなければなりません。特段の事情がない限り、これに遅れた場合はイエローカードを受けます。艇の故障等で間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。許可なく遅れレースに参加できなかったクルーは DNS(Did not start)となり以後の全ラウンドに出漕できません。
- ② 発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備をし、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。

## 8. レース中の注意について

- ① スタート直後を含め、レース中に艇の故障およびオールの破損等が生じて、特別な救済措置はありません。またこれに関する異議は認めません。故障や不具合が生じないように、十分に点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進捗し、他のレーンへの侵害や、他艇の妨害をしてはなりません。レース中、障害物の出現や接触・衝突および妨害する危険が生じる恐れがある場合、主審は白旗を掲げ「〇〇止まれ！」と当該クルーのみへコールし停止を求めることがあります。この場合、必ず主審の指示に従ってください。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、容赦してください。

## 9. レース中の落水・転覆について

- ① レース中に落水(転覆)した場合、自力で速やかに乗艇(回復)し、フィニッシュラインを通過すれば着順を認めます。ただし、自力での乗艇に手間取り、次のレースに支障をきたすとき、また安全上の問題があると審判員が判断したときには救助します。この場合、DNF(Did not finish)となり、以後のレースには出漕できません。
- ② 万一の落水時、ストレッチャーから足が抜けず、危険な状況も想定されます。適切な長さのヒールロープが付けられているか、もしくはシューズが簡単に外れる形式のものを必ず使用してください。なおこれらに違反する艇で出漕すると失格となります。

## 10. 指導・警告・除外とその取り扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告(注意・イエローカード・レッドカード)を受けます。同一ラウンド内でイエローカードを2回受けるとレッドカードとなり、レッドカードを受けると除外となります。審判がイエローカード・レッドカードを与えるときは、クルーに該当色のカードを提示します。
- ② クルーが大会期間中の航行ルールを守らなかった場合、指導やイエローカードを受けます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が警告対象と判断した場合、イエローカードを受けことがあります。
- ③ 予選において、スタート前やスタート直後およびレース中にレッドカードを受け除外となったクルーは、今大会では敗者復活戦への出場が認められるので、他クルーとの公平を期すため、予選レースで全距離を漕了することとします。なお、この際にまじめな態度および正常な競漕速度で漕了しない場合、接触・妨害をおこした場合は失格とします。
- ④ クルーが受けたイエローカードは、レースが成立した時点で解消しますが、レース成立後、回漕中等に受けたイエローカードは次レースに持ち越されるものとします。

## 11. レース終了後について

- ① フィニッシュラインを通過したクルーは、全クルーが通過し、主審が旗を掲げるまでフィニッシュライン付近で待機しておいてください。
- ② レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に挙手にて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がれば、レース成立を意味しますが、赤旗が揚がれば、レース中に何らかの問題があったことを示していますので、その場にとどまり主審の指示を待つようにしてください。なお、主審は状況により、フィニッシュライン手前の位置で旗を掲げる場合もありますから、しっかりと注視しておいてください。

## 12. その他

無線通信機器(携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの)の艇内持ち込みは厳禁です。失格となりますので注意してください。